

# 三和分校

## PTAだより

福知山高校

三和分校PTA

h2012月19日

### PTA活動とともに

PTA副会長 岩木 亜津子

朝夕めつきり寒さ厳しい季節となりました。

PTA会員の皆様には御健勝のこととお喜び申し上げます。

この度、平成二十年度PTA副会長をさせて頂いておりますが、名ばかりで早、二学期が終わろうとしていきます。

日頃は、PTA活動に御協力をさせて頂き心より御礼申し上げます。

PTA行事として、五月には第一回総会、学級懇談会があり、七月には学年懇談会、八月には環境整備作業、十一月には文化祭が実施されました。

環境整備作業では、今年は歩道の工事をしておられた為、作業量としては例年よりも少ない作業でしたが、生徒、先生方、保護者の方々にご協力いただきまして感謝しております。さて、テレ



ビヤ新聞に報道されていますが、昨年より原油高騰により、あらゆるものが高くなり、又、円高の影響で大手企業の解雇問題等、私たちの生活を脅かす要因がいつぱいあり、安心して暮らすには厳しい状況です。

今年度は四年生の就職活動が厳しかったのだらうとお察しします。一日も早く景気がよくなる事を願います。

話は変わりますが、三和分校で「私のおすすめ」のものがありません。

農業科の毎年、春と秋に販売される苗です。どの苗もとても立派ですが、私が特に気に入っているのが花苗のサルビアとパンジーです。サルビアは今年、春に七本苗を買って家の花壇に植えました。赤い花が咲き、今年の夏は例年よりも暑く水やりを忘れていると一時、枯れそうでしたが、又、水をやると元氣よく赤い花をつけいつまでも咲いていました。残念ながら、やはり寒さには弱く十一月に雪が降った日があり、その日しな

根はしつかり張っていました。とてもきれかったですよ！パンジーもいつまでも咲いていてとてもきれいです。その他の苗もお店で買うのと負けずおとらずです。

まだの方はぜひ一度お試しあれ！文化祭の各科の模擬店もいいですよ！

最後になりましたが、皆様の御協力を願います。



### あいさつと感謝の心

日々を大切に

副校長 茂籠 宏

師走の候、PTA会員の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から、三和分校教育の充実発展のため、御協力・御支援を賜り誠にありがとうございます。

今年度も二学期が終了し、三学期を残すのみとなりました。

過日、株式会社ミキハウスの坂本達氏の話や機会がありました。坂本氏は一九九五年から四年三ヶ月間にわたり、自転車世界一周を体験された方です。講演の中で、夢に挑戦するために今、できる三つのことという話がありました。

一つ目は、「あいさつ」です。

坂本氏は旅行中に、洪水で自転車の旅行を断念しなければならぬ状況に追い込まれた時、洪水がおきている何キロかの道を車で送ってもらえた事があつたそうです。助けてくれた見ず知らずの人は、あなたがあいさつをしたから、気になってついてきたら、困っていたから助けたと助けた訳を教えてくださいました。

二つ目は、「感謝」の気持ちを伝えることです。心でありがとうと思つていても相手には伝わりません。言葉や行動で感謝の気持ちを表すことが大切です。

三つ目は、「持つているものを大切に」です。例えば、自分の気の弱さも弱ければ用心できて、人が見えないものが見える事があります。気が弱いからためなのではなくて自分の持つているものを利用しチャンスをつかんでほしい。こうした気持ちで毎日を大切に生きる事が、夢に挑戦するために今、できることだと話されました。

未知の世界を旅する中で、感じられた教訓が、日常生活に大切な「あいさつ」「感謝」であったことに人としての原点を見る思いがします。

自分の夢を実現していくための一歩は日々の生活の中にあるといえます。一年の締めくくりにも一度自分と向き合い考えたいものです。

## PTA会員より

今年度を振り返って

PTA役員 北山 義弘

朝夕の寒さが厳しく感じる今日この頃ですが、PTA会員の皆様にはまずまずご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃は、PTA活動に御理解、御協力頂き心よりお礼申し上げます。

私自身、仕事にかこつけてないがしろにしがちな面が多々あること深く反省しております。

高校生にもなれば、自分というものがほぼ出来上がってくる年齢でもあることからPTAもそんなに関係ないかな？と非協力的な考え方をもっていました。

しかし、一番敏感な年齢でもあり将来を左右することを感じる年齢でもあります。大きくなつてくると親が学校に来ることをうつつとしく思うのは仕方ないことかも知れませんが、本当に嫌だと思っっている子供はいないと思います。

親のほうで面倒くさいから子供のせいにしていないのではないのでしょうか？

子供は見ていないようで親の生き様をしつかりと見ています。

たまには親子一緒になつて学校行事を試してみるのも子供の違った

面を見る良いきっかけになると思っています。

今年度も残すところ後一学期となりました。

親子共々良い高校生活が送れるように努力していきたいと思っております。

後になりましたが、日頃子供たちへの熱心なご指導心より感謝申し上げます。

「早いもので……」

以上

一年生一会員

朝夕の冷え込みも厳しくなる中、PTA会員の皆様にはお変わりなくご健勝のこととお喜び申し上げます。

早いもので、子どもが三和分校に通うようになり九ヶ月が経過しました。先生方、友達にも温かく接して頂き毎日楽しく過ごしております。一緒に入学した中の何名かが退学されたのは残念なことでした。

現在在学中の仲間とは一緒に卒業できるように、お互いに励まし合い、忍耐力と人を思いやる心を持ち、立派に育ってほしいものです。毎日、毎年、一日一日を充実した日々を……。



## 「養護学校での研修」

学習支援担当 谷口 藤雄

今年で学校に勤めて三十五年、三和分校の勤務は二回目となります。昭和五十七年から二年間三和分校に勤めました。そのころ教えられた生徒の子どもさんがたくさん三和分校に通学しているのでも懐かしく思います。だいぶ年をとつたなあというのが実感です。

二十五年前のころにくらべて学校も生徒たちも大きくかわっています（当然ですね）。六年前に園部高校から三和分校に転勤して驚いたことがあります。不登校を経験した生徒、心や体に課題のある生徒、学習に自信のない生徒などが目につきました。三十年近い私の教師経験の中で出会ったことがないような生徒たちがたくさんいました。そのためどのような指導をすればよいのかわからないことが多く、新しく勉強する必要にせまられました。

また、学校教育法の改正により、高校にも「特別支援」教育が導入されることになりましたが、「特別支援」教育がいつたどのようなものかわからなかったこともあり、「特別支援」教育で先進的な取り組みをしている養護学校での研修の必要性を感じていました。そこで、三和分校五年目の昨年

先生方や生徒の皆さんに御迷惑をかけてしまいました。一年間丹波養護学校で勉強する機会をあたえていただきました。丹波養護学校で勉強したのは、主に「発達障害」といわれる新しい障害の特徴や学習の方法、援助の仕方などを学びました。実際には六人のクラスを担当しながら授業の仕方や教材の作り方など必要なことを多くの先生方から学びました。

また、そうした障害や課題のある生徒たちの就労支援（就職するのに必要な方法や相談すべきところなど）の方法や関係機関との連携の方法なども教えていただきました。

一年間の研修は私にとって大変勉強になりました。一年間とても早く過ぎました。障害があるとかないとかだけでなく誰にとってもわかりやすい授業の作り方や分校生徒一人ひとりに対する支援の方法などを学ぶことができました。たった一年ですので十分ではないと思いますが、丹波養護学校で学んだことを三和分校の教育活動に生かすことができると考えています。また、保護者の皆さんの不安や心配事に対応できるように研修を深めたいと思います。



## 農業科より

農場部長 松田 平治

農業科では、「教科を通して生きる力・社会性を育成する。」「基礎学力の定着・専門的能力の育成をはかる。」「地域との交流を生かして、意欲的に働く心身を育てる。」「という3つの教育目標を柱に日々農業教育の取組みを進めています。

「農業科学基礎」「情報」「生物活用」「食品流通」等、新しい時代に対応した科目も試行を重ねながら内容を充実していく過程があり、一方、大根栽培・白菜栽培・トマト生育調査等のプロジェクト学習も各学年で設定され、四年生では課題研究で『花壇』・『スイカ』の二つの調査研究に取り組み、実りある教育成果を目指した取組みが日々充実されてきました。総合実習では時間内の農業技術の指導に加え、長期休暇中の当番実習、月曜午後の当番実習等で、指導を徹底できるよう努めています。また、小型建設機械特別講習、危険物取扱者、農業検定等の資格取得にも力を入れ一定の成果をあげることができました。

姿勢で推進されました。綾部市中央公民館で開催された京都府連盟大会に6名が参加し、又、緑の学園後期には6名が参加してトラクター技術の習得に努めました。佐賀県で開かれた全国大会には、今年も校内優秀者の中から四年生大槻貴之君が農業鑑定競技に出場して頑張りました。秋の文化祭では、学習成果の展示や苗物、鉢物、玉葱苗、野菜等の農場生産物の即売に大変多くの方々にご来場いただきました。また、ステージ発表では、4年生青嶋明夫君の代表意見発表があり、「農業の力」というテーマで、土に触れて感じた土の持つ力、農業の力と大切さを発表し、多くの人々の賛同と感動を呼びました。また、三和町内へのプラントー配布や町催し行事への参加、小中学校への花苗出荷等、地域と結びついた農業クラブ活動が今年も活発におこなわれました。

この秋も、キャベツやブロッコリー等の秋苗販売に始まり、玉葱苗販売、文化祭即売会、そして松竹梅寄植と忙しい毎日が続き、気が付けばもう二学期も終わろうとしています。農業科では地域に根ざした活動をこれからも継続していきたいと、職員一同、そして生徒たちみんなが力を合わせて頑張っています。今後とも会員皆様方の力強い御支援・御声援をお願い致します。

## 家政科の取り組み

家政科長 松田 恭子

家政科においては「基礎学力の定着」を図るとともに、「生活するために必要な知識と技術を習得する」「家庭クラブ活動やボランティア活動を通して社会性を高め相互に学びあう態度を育てる」ことに力を入れて取り組んでいます。

家政科は実技科目が多いので、実習を通して体験しながら基礎的な知識や技術を学んでいます。ゆとり丁寧な繰り返しを基本として学習しています。苦手であった技術も丁寧に指導することでしっかりと身につけていきます。

今年度の文化祭は、十一月十三日・十五日に開催されました。家政科は生徒数が少ない中、作品シヨ、軽食店、展示等の取り組みにしつかりと頑張りました。恒例のマドレーヌは午前中で完売しました。軽食店ではカレーうどんがメニューに登場。なかなかの評判でした。その他のメニューもお陰様でほぼ目標通り販売することが出来ました。

作品シヨは、一年生は、初舞台でしたが、意欲に満ちた表情で元気よく発表していました。家庭クラブ活動においては、はぎれを利用して作った小物を三和



の高齢者生活福祉センターへ、十一月五日にクリスマスプレゼントとお渡し

しました。このように家庭クラブ活動、ボランティア活動を通してやさしさや相手を思う気持ちが高め、さらに社会性を身につける力になるよう活動しています。

技術検定も三・四級に取り組んでいます。四級は全員合格を目指しています。三級にも挑戦して合格を目指して欲しいものです。

進路関係では家政科で学んだ技術などを活かした進学・就職にと新たな道に向かって進んでいます。自分に適した仕事は何なのか、どんな仕事がしたいのかという問題意識を早くから持ち、進路目標を立ててその実現に向かって頑張りたいと思います。

このように全体としては真面目に意欲的に取り組んでいます。青年期のこの時期にこそ、何事にも意欲的に取り組み自信と実力を身につけて欲しいと思っています。

# 文化祭

十一月十三日(木)と十五日(土)に、三和のさとに輝け 2008 文化祭」をテーマに実施されました。十三日は各学年の劇の発表があり、四年生の演劇「サザエさん」が最優秀賞となりました。また、家政科では授業などで取り組んで作り上げた作品を身につけ、作品ショーを展開しました。農業科からは意見発表が行われ、四年の青嶋明夫君が「農業」をテーマに発表を行いました。

十五日は、大根や白菜などの農産物の販売・毎年恒例となつていきますタマネギ苗の販売・マドレーヌ・たこ焼きなどの販売・軽食店等を行いました。また、体育館では生徒保健委員会による「ジュースなどの清涼飲水の糖分について」の展示。

農業科  
の展示  
と農業  
鑑定競  
技(ク  
イズ)  
体験コ  
ナ



を行いました。家政科では家政科の授業で制作した浴衣などの作品展示、美術の作品も展示されました。当日は、PTA会員の皆様・卒業生・地域の皆様など二百人以上の方に来校していただき、日頃の生徒の取組の成果を見ていただくことができました。



家政科の作品



農業科の寄せ植え

## 資格取得

今年四月からの資格取得について

第二十七回全国高等学校家庭科

技術検定 食物調理四級合格者

一年 大槻せりなさん

二年 篠田優果さん

吉田彩乃さん

第二十七回全国高等学校家庭科

技術検定 被服製作四級合格者

一年 片山菜摘さん

清友 彩さん

田中麻弥さん

細見玲奈さん

三年 佐々木香澄さん

危険物取扱者合格者

乙種 5・6 類合格者

四年 大槻貴之君

丙種

四年 五屋元希君

小型車両系建設機械特別教育修了  
証取得者

三年

大槻泰寛君 野村広幸君

河原林治君 畑中隆介君

才村浩平君 細見俊宏君

坂根健太君 増谷祐紀君

田中達也君 盛重隼人君

西村太一君 山本翔君

竹林亜紀さん

## バザーへの御協力

ありがとうございます

PTAバザーには、食器・タオル・洗剤・石けん・衣類・文具・雑貨等、様々な品物を会員様より提供していただきました。ありがとうございます。ありがとうございました。開店と同時にたくさんの方に来ていただきました。上々の売れ行きでした。店先で交渉しながら購入していただく方もあり、和気あいあいと商品の販売ができました。商品の9割近くが売れました。おかげさまで一万八千九百六十円を売り上げることができました。PTAの会計に入金させていただきました。皆様のご協力で深く感謝しております。